

2015年7月10日 第81号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

官邸 来週「強行採決」の構え崩さず

週末は、地元議員への直接的な語りかけを！

維新の党・公明党への働きかけも重要！

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会が衆議院議員名簿（地方別）を作成しました。この週末地元へ帰る各国會議員への地元有権者からの直接的な語りかけをぜひお願いします。

また、揺れる維新の党、支持層の「反対」が「賛成」を上回る公明党を中心に、電話、ファックス、はがき、手紙、メールなどで働きかけを行ってください。

名簿にはメールアドレスの記載が少ないですが、議員名で検索すればホームページがあらわれ、そこにてくる「応答フォーム」を使うなどしてください。

来週は、全国で「戦争法案反対」のうねりを！

国会周辺での行動は連日開催します！

※主催団体名のないものは総がかり行動実行委員会主催です。

13日（月）

◆強行開催反対！戦争法案廃案7・13中央公聴会抗議行動

8時30分～9時30分スタート集会 9時30分～座り込み抗議行動

12時～12時30分まとめの集会

衆議院第2議員会館前

14日（火）

◆戦争法案廃案！強行採決反対！7・14大集会・国会請願デモ

集会＝18時30分～ 日比谷野音 国会請願デモ＝18時45分出発

◆止めよう！戦争法案7・14集会 意思統一と署名提出 15～16時20分

砂防会館別館3階六甲

国会情勢報告：日本共産党国会議員、発言：各団体の取り組み

終了後、16時45分から17時30分まで議員要請を行います。

主催：憲法共同センター

15日（水）

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会前座り込み行動 13時～17時 国会正門前

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会正門前大集会 18時30分～20時 国会正門前を中心に

16日（木）

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会前座り込み行動 13時～17時 国会正門前

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会正門前大集会 18時30分～20時 国会正門前を中心に

（木曜連続行動＝第9回を兼ねる）

17日（金）

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会前座り込み行動 13時～17時 国会正門前

◆戦争法案廃案！強行採決反対！国会正門前大集会 18時30分～20時 国会正門前を中心に

各地域・団体のとりくみ

奈良県共同センター 「戦争法案阻止！」県民集会

近鉄奈良駅前に 900 人が結集！

憲法 9 条守れ！奈良県共同センター主催の「戦争法案阻止！安倍暴走政治ストップ！奈良県民集会」が 7 月 7 日の七夕の夜、近鉄奈良駅前で開催され、900 人が参加しました。

主催者代表の佐藤真理弁護士は「法案が成立すれば戦場に駆り立てられることになる若者たちが戦争立法阻止の運動に立ち上がっている。今、世論と運動が安倍内閣を追い詰めている。もっと大きくし、戦争法案を廃案に追い込もう！」と挨拶。奈良弁護士会会長の兒玉修一弁護士も会場に駆けつけ「今回の法案はどの枠組みから考えても憲法違反、またそれを憲法改正せずに解釈だけで変えてしまうのは明らかに立憲主義に反している。奈良弁護士会も会長声明を発表して、こういう立場を明確にした。なぜ私がここにきてこういうことをしゃべっているのかというと、戦前の弁護士会が国の戦争政策に協力させられた苦い経験を再び二度繰り返してはいけないという危機感があるからだ。」と挨拶しました。新日本婦人の会のレッドアクション、奈良県教職員組合書記長の挨拶等の後、J R 奈良駅前までパレードし「戦争法案絶対廃案！」をアピールしました。



演説する兒玉修一弁護士

京都弁護士会 「強行採決は許されない」と呼びかけ

四条河原町で共産・民主・社民・新社会が共同で演説



昨日夕刻、京都弁護士会が「戦争立法は憲法違反、強行採決は許されない」と、各政党に呼びかけた初の街頭演説会が開かれ市民の注目を集めました。四条河原町マルイ前には、多くの弁護士の方や市民が参集。白浜徹朗弁護士会長があいさつに立ち、「弁護士会には色々な立場の人がいるが、この法案だけは明確な憲法違反であり、法律家として多くの弁護士が許せないといわざるをえない」とあいさつ。その後、新社会党・池内元宇治市議、社民党府連・中村在男国民運動部長、民主党・泉健太衆院議員、日本共産党・井上哲士参院議員が国会内外の緊迫した状況を伝え、「成立を強引に進めようとする安倍内閣と自公与党に対して、より多くの世論を結集して阻止しよう」と訴えました。最後に、副会長の福山弁護士が、「戦争は最大の人権侵害」弁護士として違憲法案を許すわけにはいかない。法廷の中だけでは人権は守れないと思い、多くの弁護士が立ち上がった。ともに戦争法案を阻止するために協力してたたかいましょう」と呼びかけると街頭からの大きな拍手につつまれました。(7/7 付京都憲法共同センター F A X 情報 NO.12 より)

大阪 「戦争法案は廃案に！」各地で行動続々

【野崎】7 月 3 日「野崎駅周辺 9 条の会」と「憲法と平和を愛し野崎駅周辺で共同する会」が宣伝行動を行い 12 人が参加。若い人のビラの受け取りもよく、2 人の男性は「法律は絶対通したらアカン」「頑張って」と期待を寄せてくれました。草の根の運動を毎月欠かさず続けて 11 年、世論を飛躍させる活動はいよいよ正念場です。【堺】7 月 1 日「戦争法案」反対堺連絡会の市民集会とデモが行われ 600 人の市民が参加、近年にない規模となりました。集会では平良仁志牧師（キリスト教）と堺教職員組合・山本茂幸書記次長が訴え、日本共産党のわたなべ結さんが国会情勢の報告。今後も金曜日の共同宣伝を行うとともに、市内各地で地域宣伝の実施を呼びかけ、幅広い共同運動を計画しています。【高槻島本】7 月 4 日、雨のなか「高槻憲法と平和を守る会」の市民集会とデモが行われ、昨年 6 月の 350 人を大きく上回る 600 人が参加。なんとしても戦

争法案を廃案に使用という市民の熱気を感じました。高槻島本で日常的に憲法を守る活動をしている2つの市民団体の決意表明のあと、日本共産党・宮本たけし議員、民主党・辻本清美議員が駆けつけて国会情勢報告。超党派の高槻市会議員7人と島本町会議員5人が紹介されました。高槻では引き続き、草の根の市民運動を広げていきます。(7/9 付大阪憲法しんぶん速報版 NO.325 より)

北海道民医連 2日間で3000人の署名届く 全道から署名ハガキに怒りのメッセージ



7月1日付「友の会新聞」に織り込まれた署名ハガキが続々と戻ってきています。6日、7日の2日間で勤医労と道民医連にとどいた署名は合わせて3000人余にのぼり、安倍政権への怒りの声と共に「子どもたちのために絶対に戦争は止めて」と切実な思いがびっしりと書き込まれています。

—寄せられたメッセージの一部—

★母として戦うために産み育てたものではありません。心も身体にも傷がつく。そんなところに行かねばならない法案はもっともって考え、話し合って結論を出すべきです。(帯広市)

★戦争からはうらみ、憎しみ、自由が奪われるなど、苦しいこと、つらいことばかり。(中略) どうやれば他の国と良い関係に向かっていけるのか、本当に真面目に考えれば戦争などしなくてすむ。(釧路市)

★息子が戦争に行くことになりでもしたら、と考えただけで眠れなくなります。(旭川市)

(7/8 付北海道民医連ニュースより)